

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KTC放課後等デイサービス はくぼん大橋駅前		公表日		2025 年 3 月 10 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		8	0
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		8	0	しっかり人員配置ができていて 専従が取れる配置になっている	3年以上専従になれるようにしたい	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	2	危ないと思うところ改良をしている 事業所内の角等にはスポンジを付けている	事業所が2階だが階段が急であるため、手すりをしっかり持ちながら上り下りするよう支援をしている	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	0			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		8	0	定期的に行われるようスケジュールリングされている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	0	社員全員で確認している。 実現できそうなことに対してはすぐ動いている	保護者の意見を取り入れ改善を常にしていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		8	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	4	業務改善についてはよく話し合いを行っている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		8	0	社内研修が定期的に行われている	外部の研修にも積極的に参加するように努める
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		8	0	ニーズをしっかりと反映した計画を立てられるよう、面談の際の聞き取りを行っている	その時その時で聞き漏れがないように聞くことリストを作る
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		8	0	職員での話し合いの場が持たれている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		8	0	色んな場面を想像して支援を行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	2	活動についてよく話し合っている	全員で一度に話す時間は取れていないので定期会議を開催したい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		8	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	いろんな場合の支援を考えている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	パートさんも参加できるよう、打ち合わせを昼過ぎから行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	決められた時間に行っている	パートの方も参加できるように時間に余裕を持たせる
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	ダブルチェックなどを怠らず行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	スケジュールリングしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達管理責任者とともに、スタッフが参加できるようにスケジュールリングしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4		医療との連携は薄い
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	送迎時の対応に関してしっかり情報共有を行っている 学校間だけではなく保護者とも共有している	下校時刻に関しては基本的に保護者から情報を得るように言われている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	出身保育園や幼稚園に挨拶に伺っている	定期的には行っていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3		まだ例はないが体制は準備できている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		迷惑にならないように配慮する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6	資料に目を通している	なかなか参加はできていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	申し送りをしっかり出来ている	時間が取れない保護者の方にも伝達できるよう連絡にその日の様子を詳しく書く
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	支援の仕方や家での様子をよくお伺いするようにしている	共有で終わってしまっている部分がある
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	必ず読み合わせを行い、難しい箇所は噛み砕いて説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	気持ちに寄り添い聞くことが出来ている	具体案を沢山出せるようにする
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	定期的に保護者会を行っている	参加人数を増やす
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	スタッフ間で共有し話し合っている 窓口を設け、もしあった際にはスタッフ間で共有できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	毎月予定表を発信している	通信はできていない
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	ダブルチェックなどを通して徹底している	出来ればスタッフ間全員でチェックを行う
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	一人一人の家庭にあった配慮が来ている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	興味は持っている	あまりできていないので機会をつくりたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	事業所内に張り出している	都度確認する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			